



IX Knowledge Inc.

2021年3月期 第2四半期 決算説明会

2020年11月25日

アイエクス・ナレッジ株式会社

JASDAQ(9753)



目次

当社を取り巻く環境と業績概要

2021年3月期 第2四半期 業績

今後の取組み

1. 当社を取り巻く環境と業績概要

当社を取り巻く環境と業績概要

2021年3月期 第2四半期 業績

今後の取組み

トピックス

2021年3月期 第2四半期

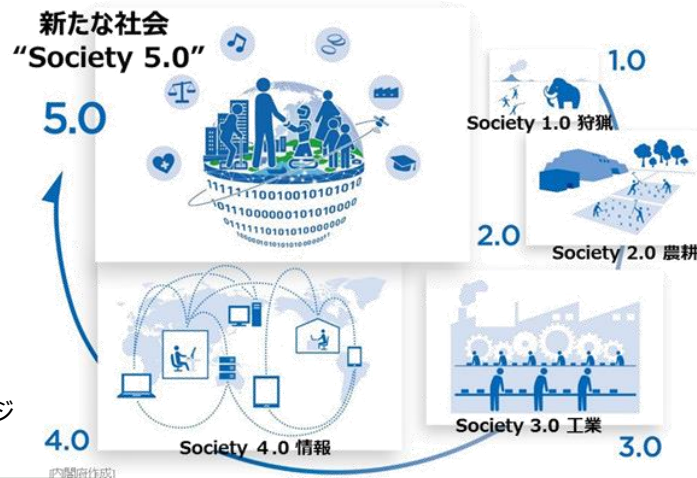
| | |
|----|---|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none">・組織再編<ul style="list-style-type: none">→経営・業務効率化に向けた管理部門再編→きめ細かな顧客ニーズ対応を目指した事業部門再編→顧客視点の営業活動実施の為の営業部門再編・新入社員77名入社・株式会社DSB情報システム様とUiPath RPA プラットフォーム サブリセラー契約締結 |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none">・情報システム会社様1社から表彰 |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none">・大手ベンダー様1社から感謝状 |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none">・大手メーカー様1社から表彰・ブロックチェーン活用オンラインセミナー開催・株式会社NTTデータ・ビズインテグラル様とビジネス・パートナー契約締結 「Biz]® (ビズインテグラル)」の販売パートナー契約締結 |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none">・「メル訓クラウド」オンラインセミナー開催・「企業におけるニューノーマルの推進」オンラインセミナー開催・「Ocean to Table Council」設立（10月1日付）・ジャパンインターナショナルシーフードショー共同出展、セミナー開催 |

市場環境とそれに対する当社の取組み

社会の変化

⇒ 情報化社会（4.0）からSociety5.0の社会へ
ITの浸透、AI・IoT、ロボティクス等の新技術
を活用したDXの進展

出典：内閣府ホームページ
(https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html)



< I T 産業が担う役割 >

高度 I T 技術を駆使して豊かな社会の実現に寄与

当社が担う役割

- ・既存顧客のデジタル化を見据えたシステム構築等への対応
- ・新たな技術への対応による付加価値やビジネスモデルの創出

お客様のビジネス課題解決

新たな市場創出

コロナ禍で加速するビジネス環境の変化

新型コロナウイルス感染症が与える影響

Face to Faceから オンライン・非接触の流れ

これまでの当たり前が通用しない「ニューノーマル時代」へ

「DX」の加速

デジタル庁発足の動き
あらゆる分野でDX促進

ビジネスの変革

「働き方改革」の加速

テレワーク、書類・印鑑の電子化
Web会議の一般化

多様なワークスタイルへの
対応

2021年3月期 第2四半期 業績概要 (1)

【売上高】 8,462百万円 (前年同期比3.2%減)

システム開発・運用で売上増加も、前期の通信事業者向けシステム検証大型案件の収束をカバーするには至らず減収

● 売上への影響要因

■ 開発サービスの中のシステム開発、運用の売上増加 (↑)

✓ システム開発案件の増加

- ・大手物流企業、化学・化粧品メーカー向けシステム開発等
- ・車載組込み案件等 組込みソフト開発

✓ システム運用案件の売上増

■ 開発サービスの中のシステム検証大型案件の収束 (↓)

2021年3月期 第2四半期 業績概要 (2)

【営業利益】399百万円 (前年同期比 17.5%増)

事業基盤の強化、販管費の抑制により増益

● 営業利益への影響要因

- ✓ 事業の選択と集中や業務改善の推進
- ✓ 採用・新人教育、出張、交際費等、販管費の抑制

2. 2021年3月期第2四半期業績

当社を取り巻く環境と業績概要

2021年3月期 第2四半期 業績

今後の取組み

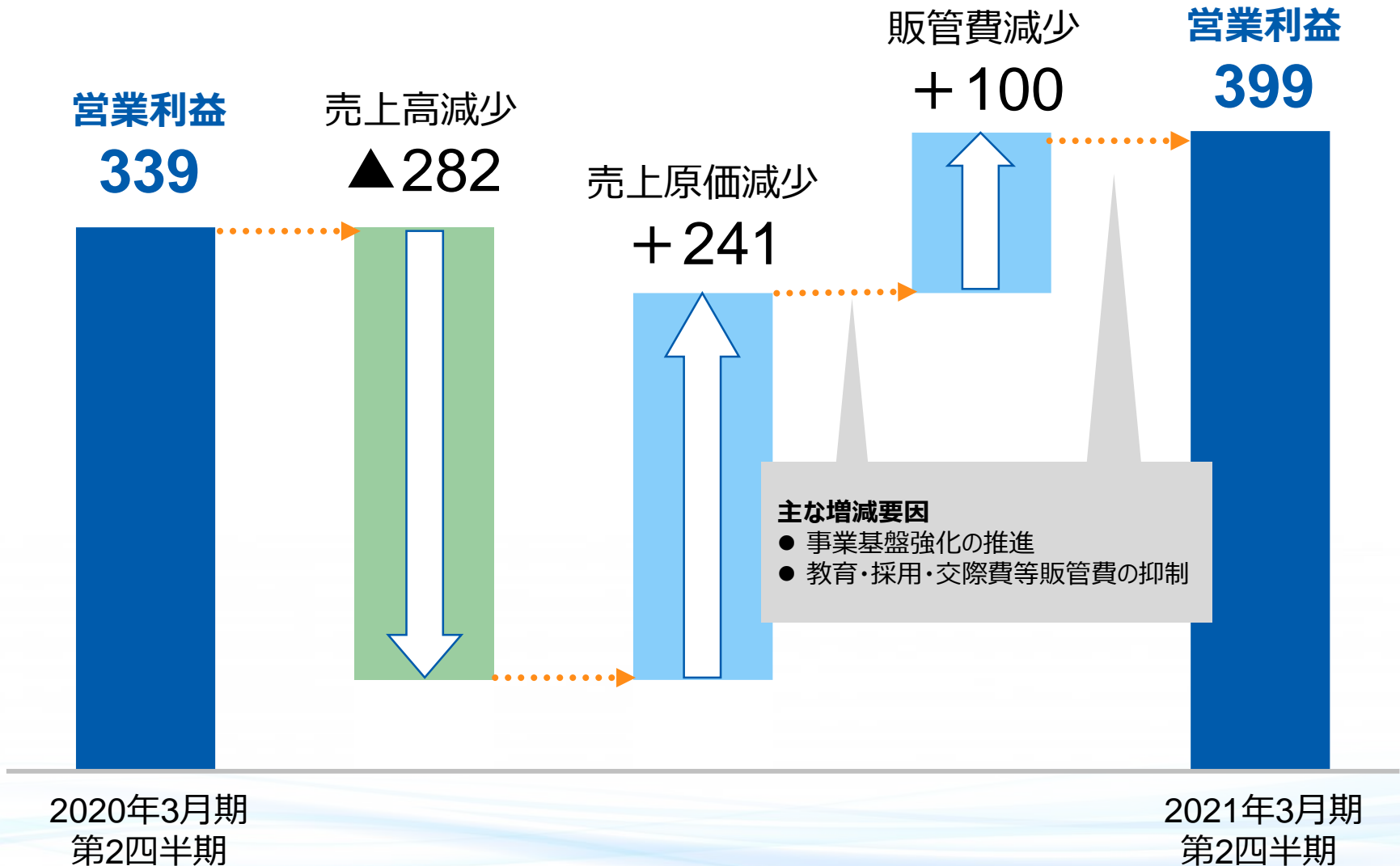
2021年3月期 第2四半期 経営成績

(単位：百万円)

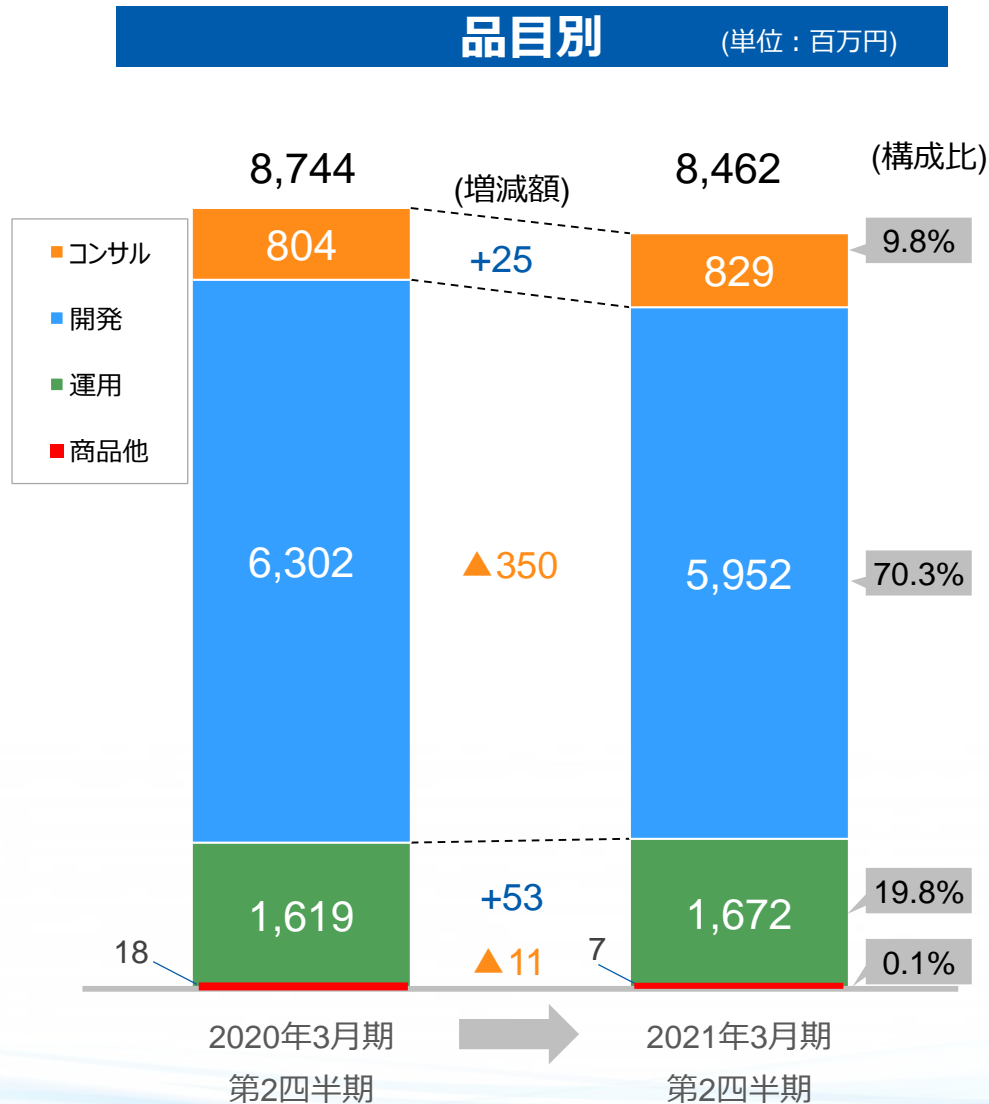
| | 2021/3月期 第2四半期 | 2020/3月期 第2四半期 | 増減額 | 増減率 |
|--------|-------------------|-------------------|------|-------|
| 売上高 | 8,462 | 8,744 | ▲282 | ▲3.2% |
| 売上原価 | 6,865 | 7,106 | ▲241 | ▲3.4% |
| 売上総利益 | 1,597 | 1,638 | ▲41 | ▲2.5% |
| 売上総利益率 | 18.9% | 18.7% | — | — |
| 販管費 | 1,198 | 1,298 | ▲100 | ▲7.7% |
| 営業利益 | 399 | 339 | 60 | 17.5% |
| 経常利益 | 427 | 360 | 67 | 18.6% |
| 四半期純利益 | 285 | 222 | 63 | 28.1% |

営業利益の変動要因

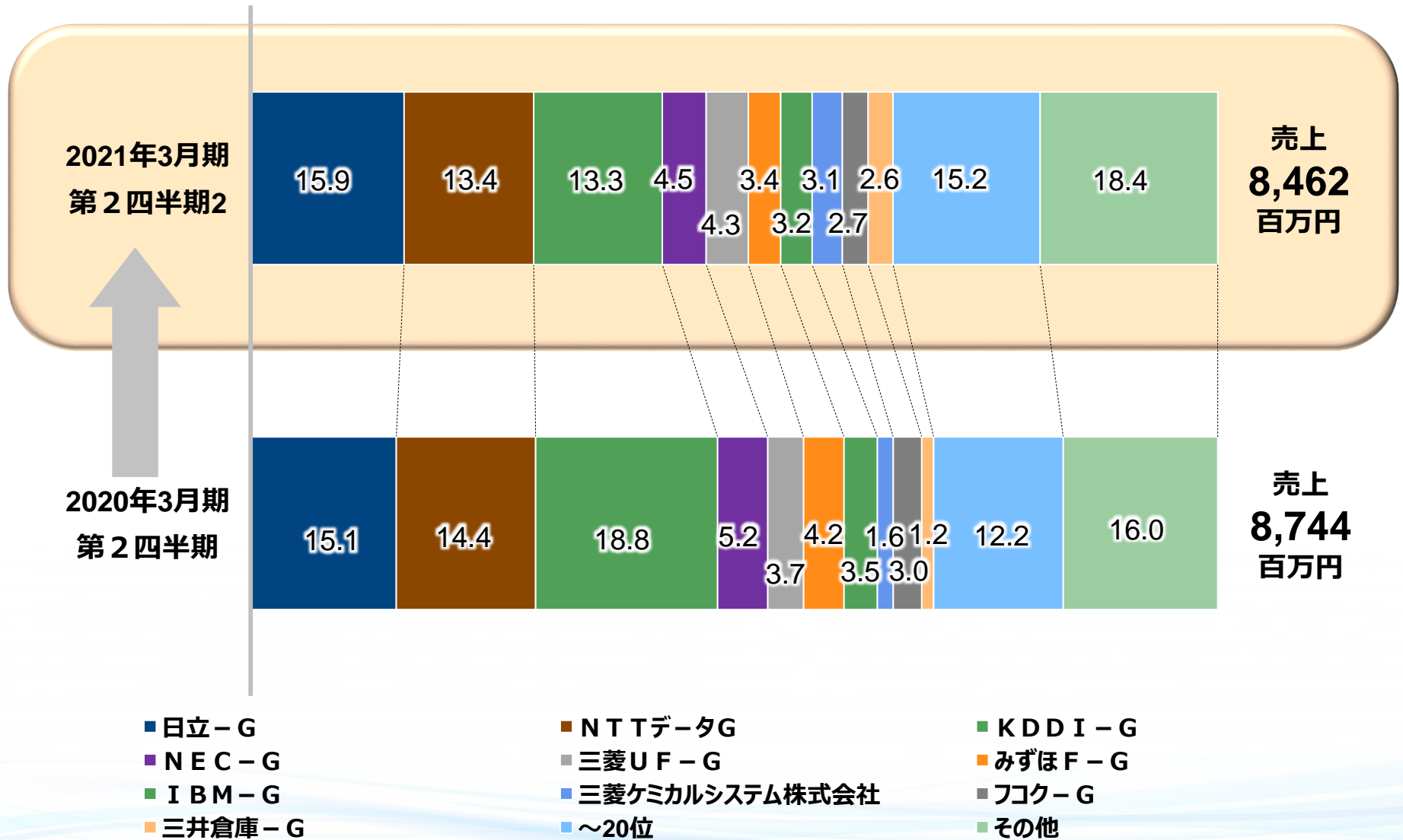
(単位：百万円)



品目別売上構成

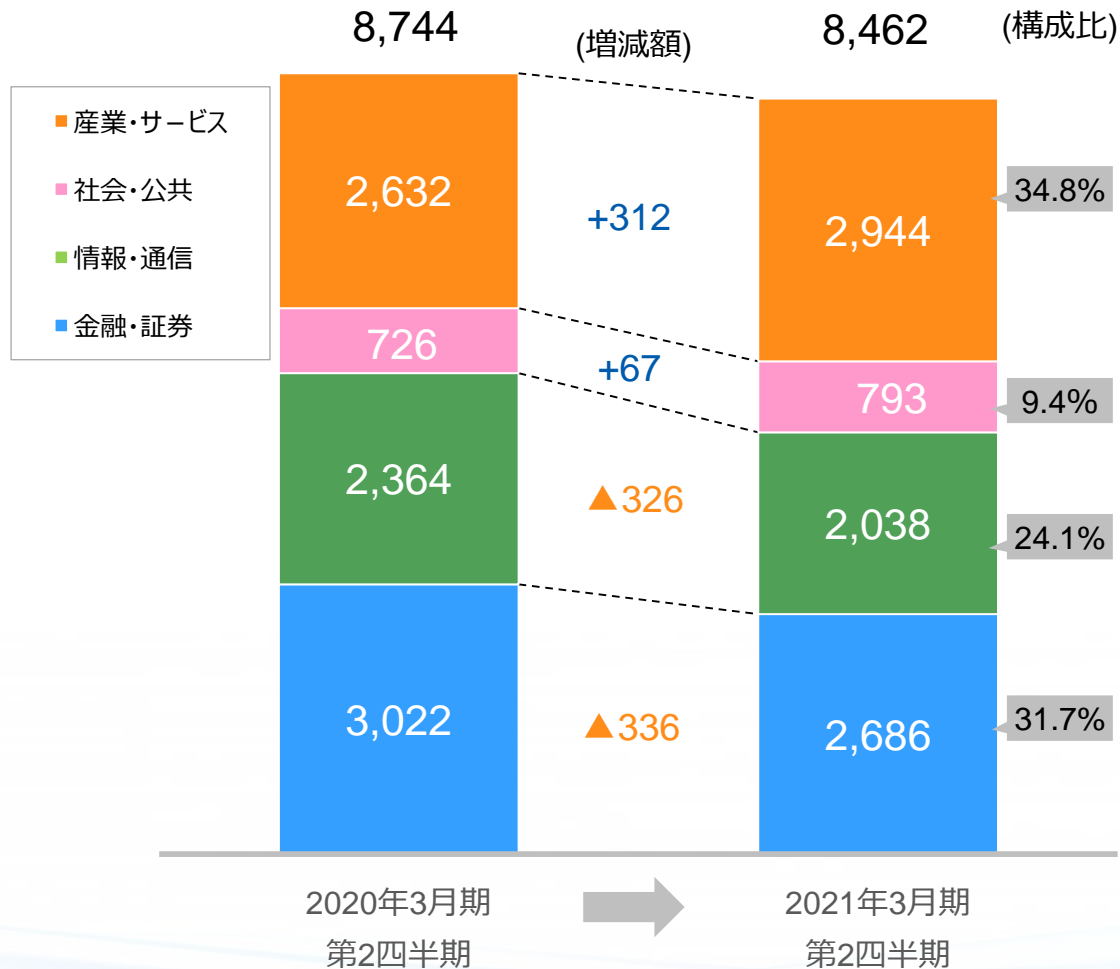


契約先顧客グループ別売上構成

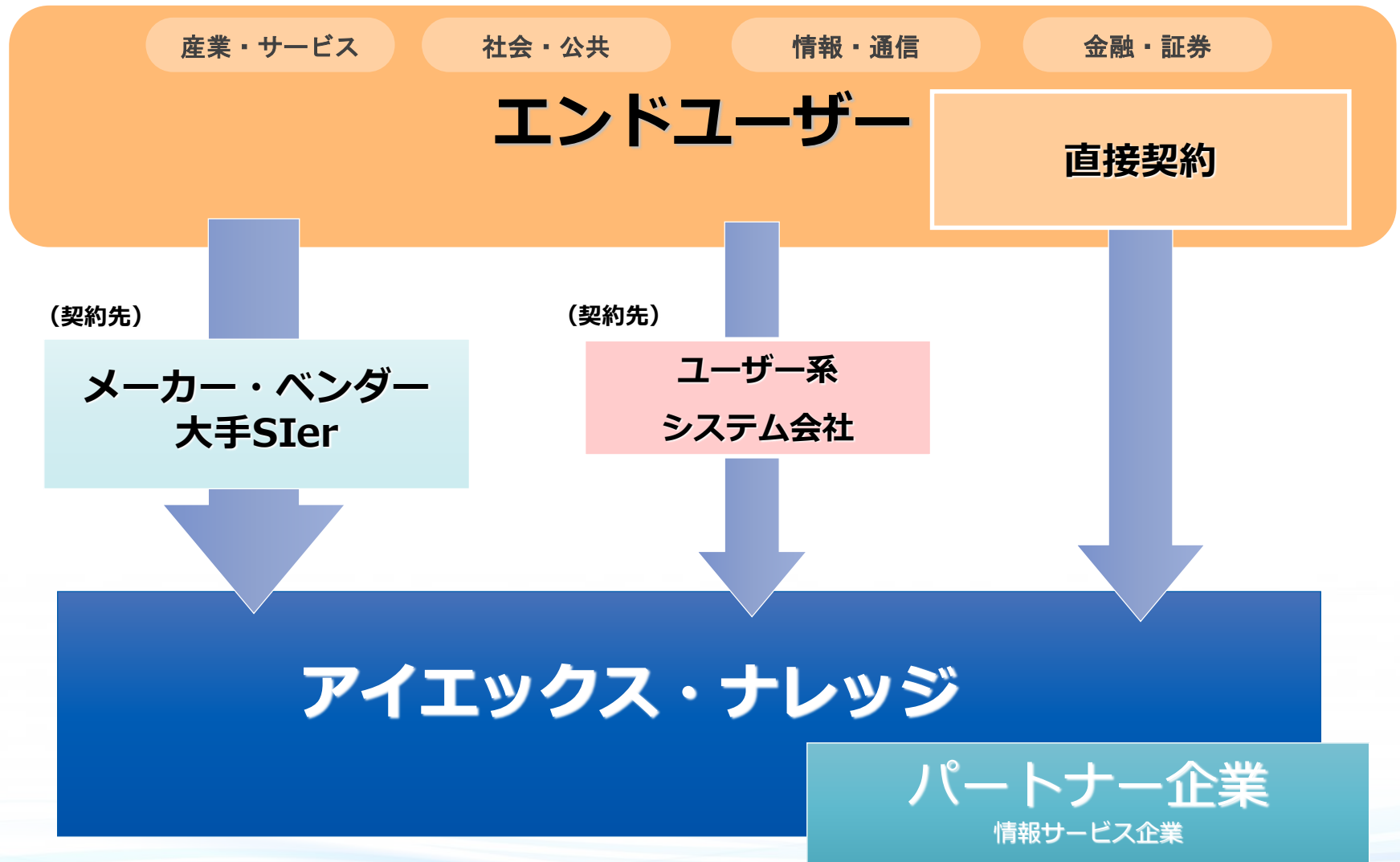


エンドユーザー業種別売上構成

エンドユーザー業種別 (単位：百万円)



(参考) 当社のビジネス構造

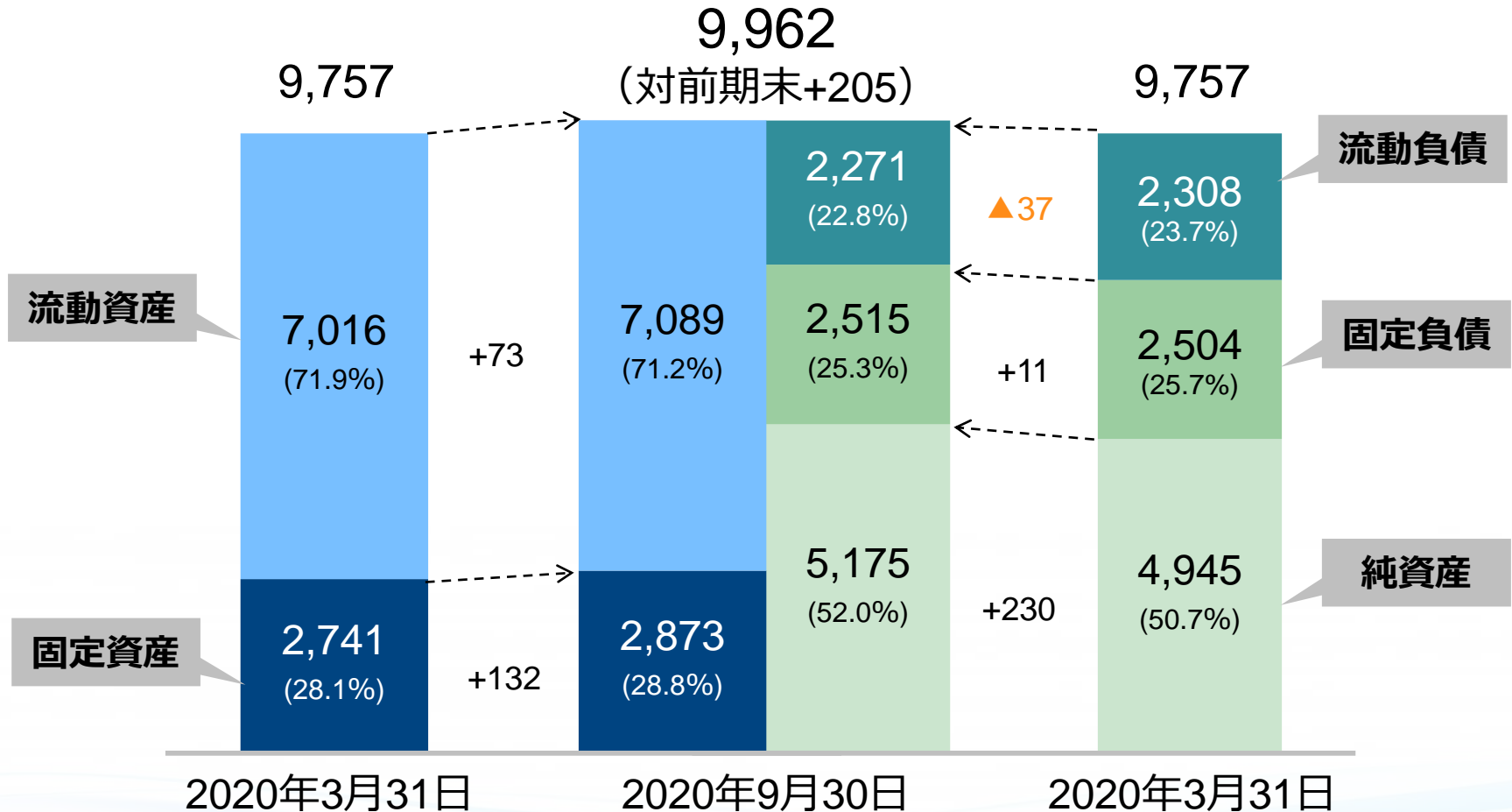


貸借対照表

資産の部

負債・純資産の部

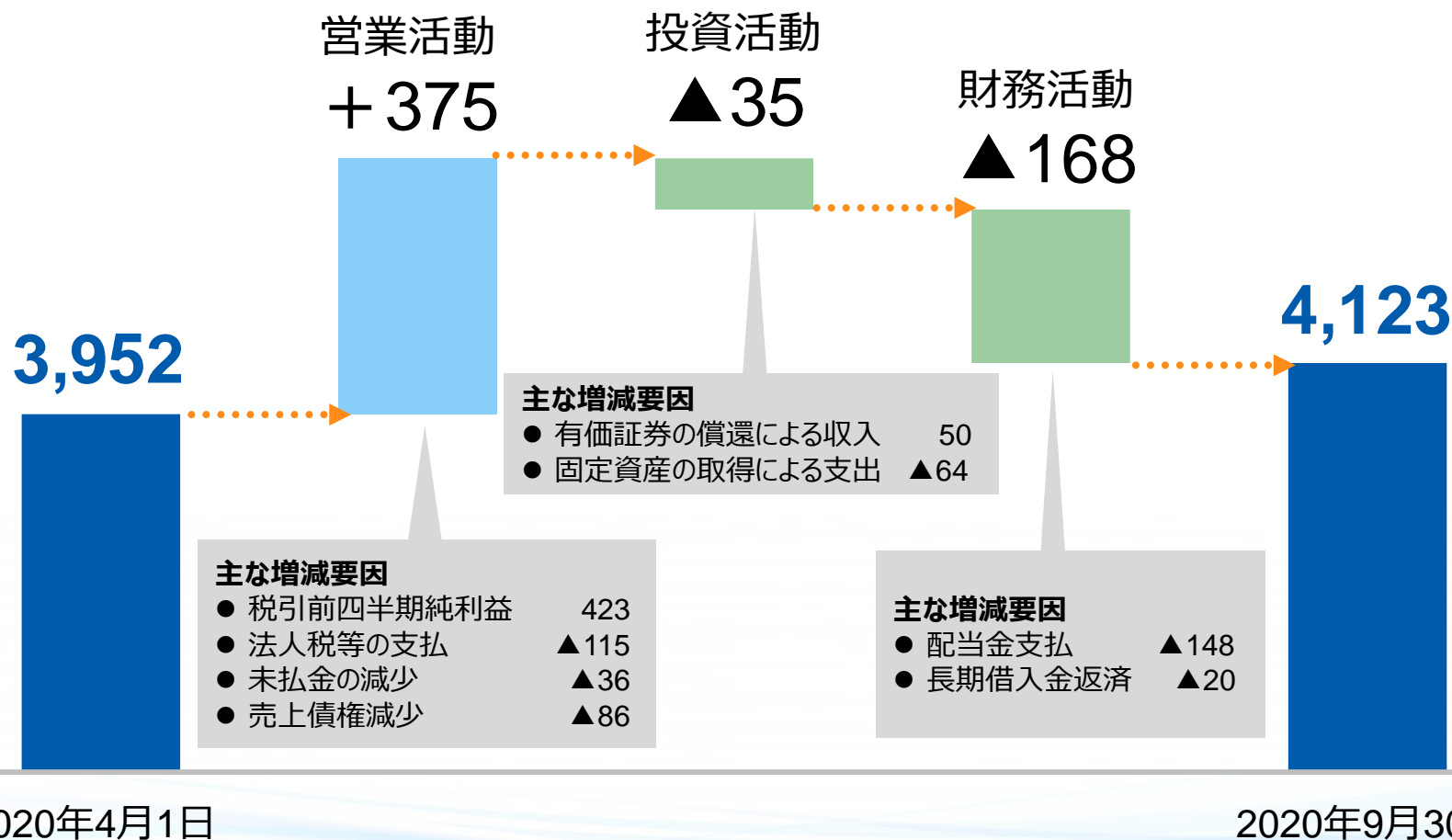
(単位：百万円)



キャッシュ・フロー

2020年4月1日～2020年9月30日

(単位：百万円)



3. 今後の取組み

当社を取り巻く環境と業績概要

2021年3月期 第2四半期 業績

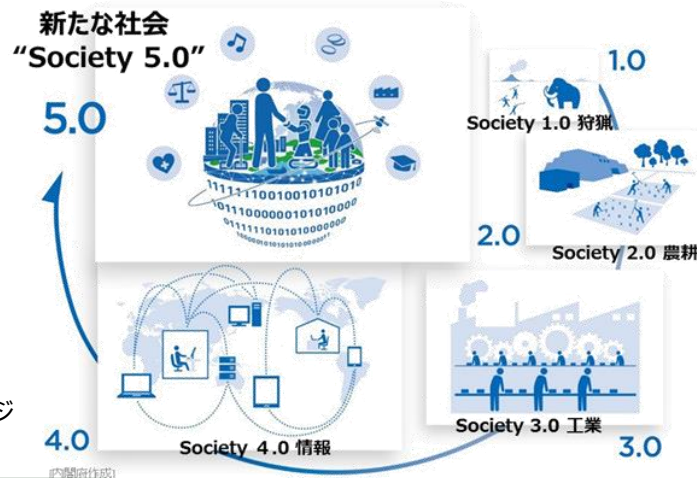
今後の取組み

市場環境とそれに対する当社の取組み

社会の変化

⇒ 情報化社会（4.0）からSociety5.0の社会へ
ITの浸透、AI・IoT、ロボティクス等の新技術
を活用したDXの進展

出典：内閣府ホームページ
(https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html)



< I T 産業が担う役割 >

高度 I T 技術を駆使して豊かな社会の実現に寄与

当社が担う役割

- ・既存顧客のデジタル化を見据えたシステム構築等への対応
- ・新たな技術への対応による付加価値やビジネスモデルの創出

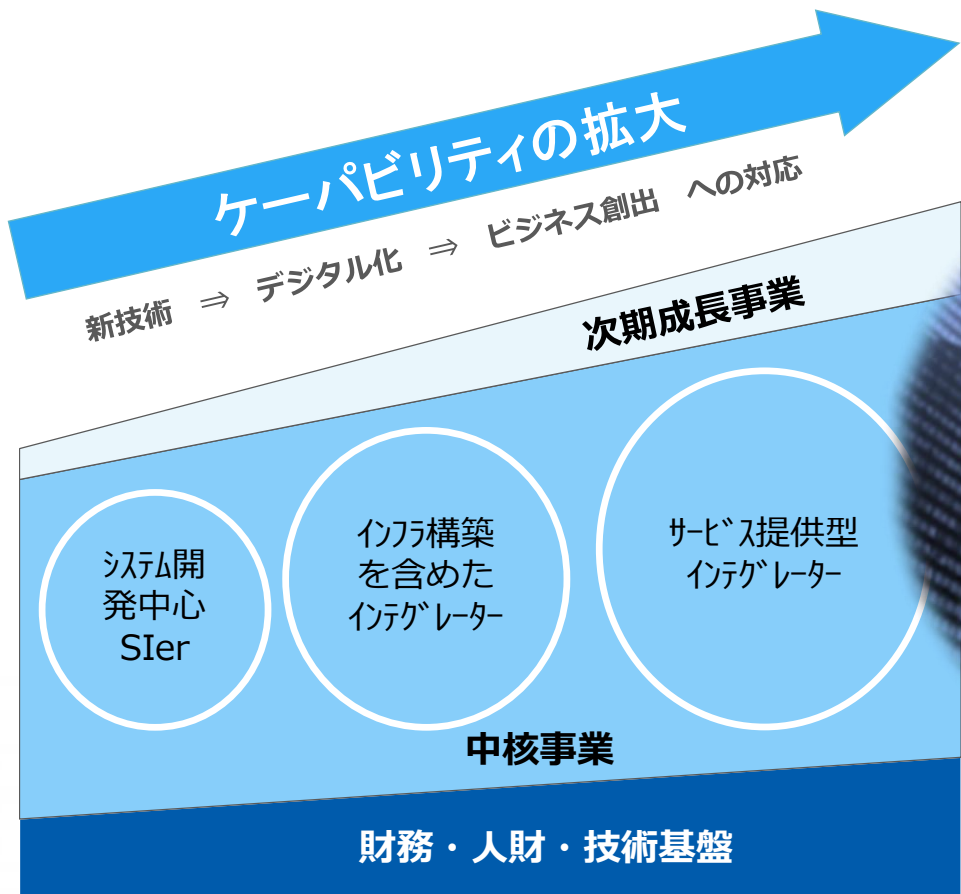
お客様のビジネス課題解決

新たな市場創出

【中期経営方針】

- ① 中核事業の拡大
- ② 次期成長事業の創出
- ③ 事業基盤の強化

中期経営計画で目指すもの



ケーパビリティの拡大からお客様との「共創」へ

取組み状況① -新型コロナウイルスへの対応-

コロナ禍で DX / 働き方改革 加速

当社の取組み

- DX（デジタル化）
 - ・テレワーク環境整備
 - ※ネットワーク、PC等の環境整備・改善
 - ・WVD、Web会議（Zoom、Skype等）等の各種ツールの導入
 - ・Web会議ツール等を活用した非対面による採用、教育研修等の実施、継続的な人材投資の推進
 - ・EDI導入検討
- 働き方
 - ・在宅勤務、時差出勤
 - ・業務の非対面化（Zoom、skype会議）
 - ※関係者の安全確保に向けた施策を継続推進

顧客状況

- DX（デジタル化）
 - ・テレワーク環境整備
 - ・Web会議ツール等の活用
- 働き方
 - ・顧客現場における在宅勤務、時差出勤
 - ・Web会議ツール活用による事業活動の非対面化 ⇒ 外部からの訪問抑制

取組み状況② -コロナ禍における中期経営計画への対応-

| No | 取組みポイント | 主な取組み内容 |
|----|---------------------------------------|--|
| 1 | 営業体制強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・営業本部制への移行により顧客横断型の対応推進 ・プロダクトや販路を意識しクロスセル強化 ・営業情報の見える化（情報の共有化） |
| 2 | 開発体制強化 厳正な開発管理と 新技術対応強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・原価管理の徹底／不採算プロジェクト撲滅 ・顧客のデジタル（DX）化に向けた人員の最適配置等の取り組み |
| 3 | 案件対応力強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・人財の育成教育／新技術のノウハウ習得 ・パートナー企業拡大／コアパートナー企業との連携強化 |
| 4 | デジタル化（DX）対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・他社ソリューションと連携、オープンイノベーション取組推進 ・オンプレミスからクラウドへの移行、クラウド環境構築等、顧客の取り組むデジタル化への営業・支援強化 |
| 5 | 事業基盤強化 中長期を見据えた 積極的な投資活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・人材投資：継続的な新卒採用・積極的な中途採用 ・設備投資：基幹システム再構築・情報基盤の整備 ・事業投資：事業提携・M&A等の施策検討 |

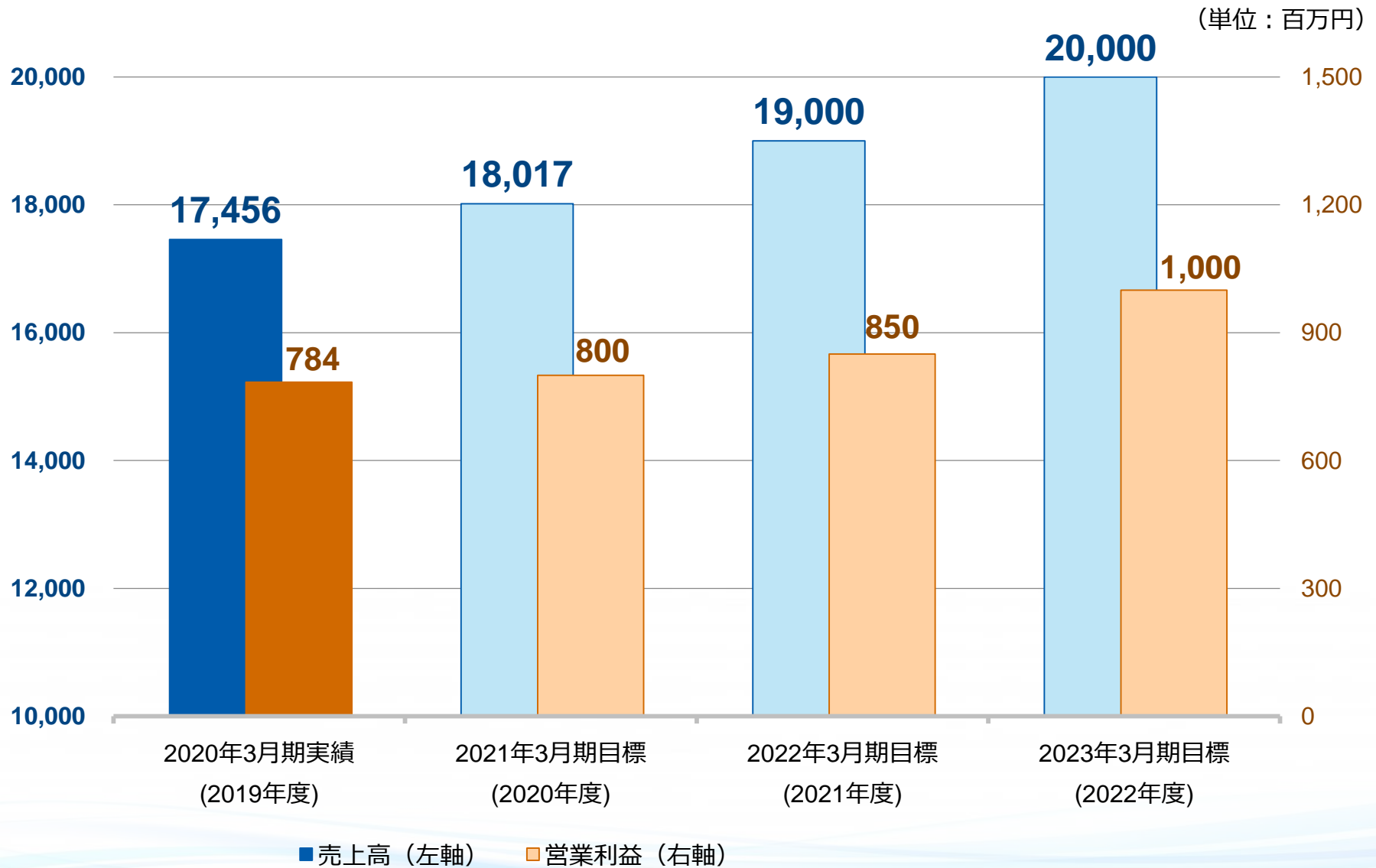
2021年3月期 業績予想

(単位：百万円)

| | 2021年3月期 予想 | 2020年3月期 実績 | 増減率 |
|--------|----------------|----------------|------|
| 売上高 | 18,017 | 17,456 | 3.1% |
| 売上原価 | 14,642 | 14,217 | 2.9% |
| 売上総利益 | 3,375 | 3,239 | 4.0% |
| 売上総利益率 | 18.7% | 18.6% | — |
| 販管費 | 2,574 | 2,454 | 4.7% |
| 営業利益 | 800 | 784 | 2.0% |
| 経常利益 | 842 | 827 | 1.8% |
| 当期純利益 | 561 | 540 | 3.6% |
| 配当金 | 15円 | 15円 | — |

※新型コロナウイルスの感染拡大や収束の状況等により、業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

中期業績目標



※新型コロナウイルスの感染拡大や収束の状況等により、業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。



IX Knowledge Inc.

当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がございますこと、予めご承知いただきますようお願い申し上げます。

お問合せ先
経営企画本部 総務部
電話 03-6400-7010
E-mail ir@ikic.co.jp
URL <https://www.ikic.co.jp>